

公益財団法人千里リサイクルプラザ平成29年第1回理事会議事録

1. 開催日時 平成29年3月28日(火) 午前10時30分から同11時20分まで
2. 開催場所 吹田商工会議所会館 2階 第1会議室
3. 理事現在数 10名
4. 理事定足数 6名
5. 出席理事数 9名
西川 俊孝 門脇 則子 岸 勝司 梶谷 尚義 小南 康隆
三田 和司 寺西 重博 安田 博明 吉川 英次
6. 欠席理事 土屋 正春
7. 出席監事 竹内 等 中川 孝基
8. 会議の目的事項
決議事項 第1号議案 公益財団法人千里リサイクルプラザ嘱託職員就業規則一部改正の件
第2号議案 公益財団法人千里リサイクルプラザ嘱託職員給与規則一部改正の件
第3号議案 公益財団法人千里リサイクルプラザ研究所設置規則一部改正の件
第4号議案 平成29年度(2017年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ事業計画及び収支予算等の承認の件

9. 会議の概要

(1) 議長の確認

冒頭で山口耕右事務局長が司会となり、本日の議長は定款第37条の規定により西川俊孝理事長が務める旨を報告した。

(2) 定足数の確認

議長は、本日の出席理事数が9名で定足数を満たしており、本日の理事会が有効に成立していることを報告した。

(3) 議案の審議状況及び議決結果

①第1号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ嘱託職員就業規則の一部改正の件」

議長は第1号議案を議題とし、事務局にその説明を求めたので、山口耕右事務局長が次のように説明した。

第1号議案の改正は、国が運営していた健康保険が全国健康保険協会に移管された際に未整備だった規定の改正と職員の福利厚生として加入している吹田商工会議所の特別退職共済制度について、吹田市の定年及び勲奨退職者については吹田市に準じて加入しないものとする説明した。

説明が終わり、議長が質問及び意見を求めたところ質問及び意見は無かったので採決を諮ったところ、満場一致をもって第1号議案は承認可決された。

②第2号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ嘱託職員給与規則の一部改正の件」

議長は第2号議案を議題とし、事務局にその説明を求めたので、山口耕右事務局長が次のように説明した。

第2号議案の改正は、当財団職員の給与については吹田市の再任用職員の給与に準拠しており再任用職員の期末・勤勉手当の改正に伴い当財団職員の賞与についても同様の改正を行うものであると説明した。

説明が終わり、議長が質問及び意見を求めたところ質問及び意見は無かったので採決を諮ったところ、満場一致をもって第2号議案は承認可決された。

③第3号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ研究所設置規則の一部改正の件」

議長は第3号議案を議題とし、事務局にその説明を求めたので、山口耕右事務局長が次のように説明した。

第3号議案の改正は、本規則は研究所の設置に関し必要な事項を定めているが、最近改正から15年経過しており、研究所が担う研究課題が変化しているため内容を実態に即したものに改めるものであると説明した。

説明が終わり、議長が質問及び意見を求めたところ質問及び意見は無かったので採決を諮ったところ、満場一致をもって第3号議案は承認可決された。

④第4号議案「平成29年度(2017年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ事業計画及び収支予算等の承認の件」

議長が第4号議案について事務局に説明を求めたので、事業計画については天野美晴主査と山中貞志主幹が、収支予算等については中山敏明主幹がそれぞれ議案書を基に順次説明した。
(岸専務理事)

29年度からの指定管理にあたって、市民・企業参画事業の万博ごみゼロウォーク、展示等事業の展示コーナー・あげます・もらいますコーナー・出張展示会、見学ツアー、吹田市主催等のイベントへの参画事業を自主事業から受託事業へ変更したことを補足説明した。

説明が終わり、議長が質問及び意見を求めたところ質問及び意見は無かったので採決を諮ったところ、満場一致をもって第4号議案は承認可決された。

(4)報告事項

議長が引き続き報告事項の説明をした。代表理事及び代表理事以外の業務執行理事の自己の職務執行状況報告書について事務局から報告した。

1. 第3四半期事業報告及び2. 第3四半期決算について上川善一郎主査が説明した。

3. 監事監査の状況について、平成29年2月9日に第3四半期監事監査が行われ、適正な処理の確認を得たと上川善一郎主査が報告した。

報告が終わり、議長が質問及び意見を求めたところ、次のような質疑応答があった。

(吉川理事)

万博ごみゼロウォークについて、エキスポシティーがオープンしたことによって、1つはごみが増えているのか、2つ目は大きな事業者が事業されているということで啓発的な連携を取り組んでいるのか、その辺はどうか。

(山口事務局長)

ごみの量については若干増えている。万博ごみゼロウォークの参加団体は前年度が19団体で、今年度は36団体になっており、この差はエキスポシティーに入っている店舗・会社に参加いただいたということである。万博周辺には大規模なサッカー場もできているので、今後とも市民・企業の皆さんと力を合わせてごみ減量の取り組みを進めていきたい。

(小南理事)

リユース食器の貸出について、それぞれの地域でいろんなイベントが行われている中で、模擬店

などで使っている容器が最終的に捨てられてごみになってしまっている。しかしリユース食器にどのようなものがあるのかよく知らないし、必要性はあると分かっているにもかかわらずリユース食器は洗ってきれいにしてお返ししなければならないなどと思われ認知度に欠ける。トレイの代わりにリユース食器で対応できれば、イベントのごみの大きな減量にもつながるので、リユース食器の種類、費用、返却方法などをニュース・新聞に折り込んでもっと知らせていただきたい。

(山口事務局長)

吹田市内のリユース食器の貸出状況については減少傾向にある。研究所のイベントのごみを減らすという取り組みを進めている研究プロジェクトからは、料金が低いのではないかと意見があり、半年間だけ吹田市内に限り、半額で試していただくという取り組みを行う。また、リユース食器を使ってもらうためのPRも進めていく。トレイに貼ってあるフィルムを剥がしてリサイクルする簡易な方法もあるので、そういった形でもご協力いただけないかなど、ごみを減らすための啓発を強めていく。

以上をもって議案の審議等を終了したので、議長は午前11時20分に閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、定款第39条第2項の規定により、理事長及び監事は記名押印する。

平成29年3月28日

理事長 西川 俊孝



監事 竹内 等



監事 中川 孝基

